

No. 1593

# 春を前に

——東京・亀戸——

東京下町の亀戸天満宮の境内は梅の花が満開。今年は暖かったせいもあって花の開花も早いようです。しかし、受験シーズンの2月とあって合格を願う家族には梅の花を鑑賞するゆとりはなさそうです。高校・大学への受験者が増加するにつれ入学の門がせまくなる結果、学問の神様、菅原道真公に願う姿は真剣そのものです。受験生とその家族には春は未だ遠いようです。

# 観光で村おこし

——群馬・新治村——

群馬県利根郡新治村は都心から車で2時間余りで行ける温泉郷。三国山脈を背に別名、猿ヶ京三国温泉郷として知られています。

山奥に一軒だけの法師温泉はJRのフルムーンのモデルに使われて以来、素朴な湯ぶねは人気のまど。赤谷湖周辺にある温泉はホテル形式の近代的な設備と共に防火に対しても万全の対策をたて、月に一度は点検を行っています。

村としては温泉以外にも村の観光資源の活性化にもと始めたのが村営スキー場。今年は暖冬のため雪不足で開店休業。しかし一年を通して観光客に楽しんでもらうために作ったのが「たくみの里と野ぼとけめぐり」。村の道すじにある野ぼとけを順番に回ったあと、地元の第一人者による「たくみの里」の家々が遊び場所。

竹細工の家の主、平田さんはこの道40年のベテランです。奥利根に生育する真竹を使ってざる、竹将棋を製作し、観光客にも実地指導でおみやげを作ってくれます。

わら細工の中村さんも15才のときからワラぐつ、正月のしめなわ飾りをつくってきて県の博物館に紹介されています。村人の協力によるこんにゃく作りの実演もあり、ふるさとの味が一杯です。

昭和62年に始まったこのたくみの里づくりも今年で3回目、「自分たちで村おこし」という意欲が実を結びつつあるようです。